

2018年の我が国の人口動態に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 出生数は約101万人であり，第2次ベビーブーム以降で最も少ない。また，第1子出生児の母の平均年齢は30歳を超えている。
2. 合計特殊出生率は1.42であり，都道府県別に見ると，最も高いのは沖縄県，最も低いのは東京都である。
3. 死因順位は，第1位は悪性新生物＜腫瘍＞，第2位は心疾患（高血圧性を除く），第3位は肺炎，第4位は脳血管疾患，第5位は老衰である。
4. 不慮の事故による死亡数を種類別に見ると，最も多いのは「交通事故」，次いで「溺死及び溺水」，「窒息」，「転倒・転落・墜落」の順である。
5. 平均初婚年齢は，夫35.1歳，妻27.4歳となっており，この年齢は夫妻とも2014年より5歳以上高い。